公益社団法人 日本プロスキー教師協会

第44・45期アルペンスキーデモンストレーター選考会
第44・45期スノーボードデモンストレーター選考会
第44・45期テレマークスキーデモンストレーター選考会
第3回アルペンスキー技術コンテスト
第3回スノーボード技術コンテスト
第3回テレマークスキー技術コンテスト
第2回マスターズスキー技術コンテスト
第5回ジュニアスキー技術コンテスト

2022年4月3日（日）～5日（火）

岩手県・安比高原スキー場

ver.2022.3.31

第44期・第45期アルペンスキーデモンストレーター選考会
第3回アルペンスキー技術コンテスト
第2回マスターズスキー技術コンテスト
第5回ジュニアスキー技術コンテスト
競技委員会役員

＜ジュリーメンバー＞
T　　D：久慈　修
主　　審：穴田慎一
副　　審：山之内 弘
競技委員長：横元信明

＜運　　営＞
セクレタリー：江畑昌英
スタート係　：穴田慎一
山之内 弘
吉岡郁栄
ゴール係　　：佐藤一臣
出口　超
小池穂高
記録・計算　：米花正裕
北神有理
永田結子
放　　送　：海宝美紀
高塚　彩
撮　　影　：近藤　洋

＜審　　査　　員＞
主任審査員：松居文智
審　査　員：横尾恵里
柴崎正弘
伊藤幸治
佐々木常念
山本　治
久慈直子
藤本剛士
高本　稔
可児　徹

＜設　　営＞
安比高原スキー場

＜式典＞
小池穂高
事務局

＜救護＞
安比高原ｽｷｰ場 パトロール

＜事 務 局＞
里中英二
町田知哉
栗原信子

第44期・第45期スノーボードデモンストレーター選考会
第3回スノーボード技術コンテスト

競技委員会役員

＜ジュリーメンバー＞
T　　D：久慈　修
主　　審：穴田慎一
副　　審：山之内 弘
競技委員長：横元信明

＜運　　営＞
セクレタリー：江畑昌英
スタート係　：穴田慎一
山之内 弘
吉岡郁栄
ゴール係　　：藤本剛士
高本　稔
可児　徹
記録・計算　：米花正裕
北神有理
永田結子
放　　送　：海宝美紀
高塚　彩
撮　　影　：近藤　洋

＜審　　査　　員＞
主任審査員：出口　超
審　査　員：小池穂高
永田結子

＜設　　営＞
安比高原スキー場

＜式典＞
小池穂高
事務局

＜救護＞
安比高原ｽｷｰ場 パトロール

＜事 務 局＞
里中英二
町田知哉
栗原信子

第44期・第45期テレマークスキーデモンストレーター選考会
第3回テレマークスキー技術コンテスト

競技委員会役員

＜ジュリーメンバー＞
T　　D：久慈　修
主　　審：穴田慎一
副　　審：山之内 弘
競技委員長：横元信明

＜運　　営＞
セクレタリー：江畑昌英
スタート係　：穴田慎一
山之内 弘
吉岡郁栄
ゴール係　　：佐々木常念
高本　稔
記録・計算　：米花正裕
北神有理
永田結子
放　　送　：海宝美紀
高塚　彩
撮　　影　：近藤　洋

＜審　　査　　員＞
主任審査員：佐藤一臣
審　査　員：倉金郁夫
小池穂高
伊藤幸治
藤本剛士
可児　徹

＜設　　営＞
安比高原スキー場

＜式典＞
小池穂高
事務局

＜救護＞
安比高原ｽｷｰ場 パトロール

＜事 務 局＞
里中英二
町田知哉
栗原信子

第44期・第45期SIAアルペンスキーデモンストレーター選考会

日　　程 ： 2022年4月3日（日）～5日（火）
※競技説明・テクニカルミーティング 本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。

参 加 資 格 ： ＜ＳＩＡ会員＞
①SIA正会員（アルペンスキー・ステージⅡ、Ⅲ、Ⅳの有資格者）。
②今期までの会費納入（大会申込締切日までに納入）をした者。

注 意 事 項 ： 使用するスキーの台数、長さ、プレートの高さは制限なし。
プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。
ヘルメットを着用すること。
ＧＳＬ時には、クラッシュヘルメット（全ての部分がハードシェルで覆われている）を着用すること。
※ＧＳＬのコースセッティングは2021/22 ＦＩＳルールに基づく（用具については上記の通り）

表　　彰 ： デモンストレーター認定者は表彰されます。

認 定 資 格 ： ①公認スキー学校に所属しているステージⅢ以上の資格を有する正会員。
②学校長の推薦をうけ、公認校において１シーズン（冬季常設期間）30日（公認校の常設スキー場）以上の指導活動をし、その証明書を申込時に提出している者。
③協力承諾書を提出している者。
④新ステージⅢの有資格者は同資格のままでは2期目の認定はされない。
但し、申込時点で上位資格の基礎理論検定または実技検定を受検後、1年以内は認定資格を満たしているもの　　とする。（合否不問）

デモ認定者数： 男子　最大15名、最少 8名
・総合得点の1種目平均270点以上の者を対象に最大15名を認定する。
・総合得点の1種目平均270点以上の者が8名以下の場合は8名を認定する。
・ステージⅣから最大15名、ステージⅢから最大2名とする。
女子　最大 4名、最少 2名
・総合得点の1種目平均270点以上の者を対象に最大 4名を認定する。
・総合得点の1種目平均270点以上の者が2名以下の場合は2名を認定する。
・ステージⅣから最大4名、ステージⅢから最大1名とする。

そ　の　他 ： ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。
※採点方法：5審3採用（その場で得点を表示します）
※デモンストレーター認定にあたり、4月4日競技終了時の成績上位者に面談を行います。
4月4日17:00ANAクラウンプラザリゾート安比高原内予定。面談時の服装は平服で構いません。
※上位入賞者でも、認定資格を満たしていない方はデモに認定されません。
※ＧＳＬのタイムにより、ＳＩＡメダルペースメーカー認定が可能です。
条　件：アルペンスキー ・ステージⅢ以上　男子110ポイント・女子 115ポイント以下
認定料：2,000円　ポイント確認・申請方法については、SIA事務局にお問合せください。
※デモ認定者は、5日の認定発表後～7日（解散15時予定）まで、デモ合宿に参加していただきます。
ご予定ください。経費は協会の負担となります。　　(2022.3,.16追記)

【着眼点】

ショートターン
・スピード、リズムに調和した重心移動の中で状況に合わせたスキー操作を行う
・適度な外向傾姿勢による捻りとひねり戻しを用いる
・下肢主要3関節を使った両脚同時操作でスピードのある深いターン弧を描く

ミドルターン
・一定のスピード、リズムに調和した重心移動の中で状況に合わせたスキー操作を行う
・スピードをコントロールした中でのスキーの滑走性を用いたターンを演じる
・ストックを使用する

コンビネーション
・ショートターンとミドルターンを決められたターン数で滑走する
（例：ミドル４ターン/ショート６ターンの繰り返し）
・積極的なスキー操作の中でターン弧、スピード、リズムを一定とする
・切り換え操作は自由とし、ストックは使用する

ロングターン
・スピードをコントロールした中でのスキーの滑走性を用いた高速ターン
・基本姿勢を重視した、ターン前半の重心移動によるエッジの切りかえとターンコントロール（回し込み）

総合滑降
・斜面上部をロングターン　中部をショートターン　下部をミドルターンとする
・種目変化によるスピードの急激な変化のないようにする
・積極的なスキー操作を行う

ロングターン・伸身～屈伸
・上部は伸身運動、下部を屈伸運動での切り換え操作とする
・両操作とも適度なズレ幅のあるターンをする
・両脚同時操作でスムーズなターンを行う
・ストックは使用すること

プルークボーゲンからロングターンの展開
・プルークボーゲン～システムターン～ロングターンの展開とする
・それぞれの種目の運動要素（例：切り換えや外スキーの操作など）は統一した表現で行う
・それぞれの種目を２ターン以上行う
・プルークボーゲン以外の種目はストックを使用する

ＧＳＬ（2走1採用）
・２走目を滑走をしたものは２走目の成績を採用する。ＤＱ(不通過判定、失格判定)も含むものとする。
・FISルールに沿った旗門設定・クラッシュメット着用、スキーレギュレーションなし
・スタートは前日までの順位順とする
・ラップタイムを出した者には、275点を与える
以下ラップタイムに遅れること0.9%ごとにマイナス 1点とする
・完走者の最低点は235点、不通過者・未完走者230点とする

ショートターン（不整地）
・ランダムな状況に適応する為の屈伸運動と伸身運動の応用を織り交ぜる
・適度な回し込みを用い滑らかな丸い弧で滑る
・スピードコントロールがされていること

第44期・第45期SIAスノーボードデモンストレーター選考会

日　　程 ： 令和4年4月4日（月）～5日（火）

※4月3日（日）競技説明・テクニカルミーティング 本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。

参 加 資 格 ： ＜ＳＩＡ会員＞

①SIA正会員（スノーボード・ステージⅡ、Ⅲ、Ⅳの有資格者）

②今期までの会費納入（大会申込締切日までに納入）をした者。

＜新規入会者＞

①令和4年3月末までに支部実施のスノーボード・ステージⅡ検定会に合格し入会した者。
※申込締切以降に検定会を受検する場合も、締切を厳守すること。
その際、申込書の資格欄で「スノーボード・ステージⅡ受検予定」を選択すること。

注 意 事 項 ： 使用するボードの台数は制限なし。

各種目とも使用するボードの種類（アルペン・フリースタイル）の選択は自由。

ヘルメットを着用すること。

表　　彰 ： デモンストレーター認定者は表彰されます。

認 定 資 格 ： ①公認スキー学校に所属しているスノーボード・ステージⅢ以上の資格を有する正会員。

②学校長の推薦をうけ、公認校において１シーズン（冬季常設期間）30日（公認校の常設スキー場）以上の指導活動をし、その証明書を申込時に提出している者。

③協力承諾書を提出している者。

そ　の　他 ： ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。

※採点方法：3審3採用

※デモ認定者：2～3名（予定）認定者数は選手会で発表する。

※女子枠については、申し込み状況を踏まえて、選手会で決定する。

※上位入賞者でも、認定資格を満たしていない方はデモに認定されません。

※デモンストレーター認定にあたり、4月4日競技終了時の成績上位者に面談を行います。
4月4日17:00ANAクラウンプラザリゾート安比高原内予定。面談時の服装は平服で構いません。

※デモ認定者は、5日の認定発表後～7日（解散15時予定）まで、デモ合宿に参加していただきます。
ご予定ください。経費は協会の負担となります。　(2022.3,.16追記)

【着眼点】

カービングターン

・斜面状況にあった、均一されたロングまたはミドルリズムのターンである
・スピードをコントロールした中で、スノーボードの滑走性を重視した滑りである
・ターン弧にあった積極的な重心移動を行っている
・流れのある動きと安定したボディーバランスである

総合滑降(リズム変化コンビネーション)

・スピードとキレのある、ロング、ミドル、ショート、スイッチ(フェイキー)ターンを構成の中に入れる
・コントロールされたボード操作と、積極的な演技構成
・斜度に対応した安定したボディーバランスである

フリースノーボーディング

・設定された中斜面を独創的なライディングの構成である
・スイッチライディング等を駆使し、スノーボードの可能性を表現している
・スピードの乗った、スノーボードの楽しさ流れの良い演技構成である

スライディングターンとカービングターン（滑り分け）

・均一されたロングまたはミドルリズムのターンで、斜面上部をスライディングターン。下部をカービングターンで滑る(目印あり)
・スライディングターンは、下肢関節を主体に、明確なボードのねじれを利用した切りかえ動作、
カービングターンは、中斜面に適した、明確な重心移動を用いた切りかえ動作で、それぞれターンの質、スピード、リズム、運動を表現する

エアー

・安定した空中姿勢とランディングに合わせた着地をしてる
・グラブ及びシフトを駆使したスタイリッシュな空中姿勢を評価する
・横及び縦、または３D回転等及び、ワンフットエアーは評価しない

ショートターン（不整地）

・コントロールされた積極的な滑りである
・安定したボディーバランスである
・雪面コンタクトを重視し、丸い弧を描いてターンをしている

SIAでは、アルペン・フリースタイルの両マテリアルを使いこなせるのが望ましいと考え、全ての種目のマテリアルの選択は自由としています。
各種目の着眼点を理解し、種目の特性にあわせ、戦略と責任を持ってマテリアル選択行って下さい。

第44期・第45期SIAテレマークスキーデモンストレーター選考会

日　　程 ： 令和4年4月4日（月）～5日（火）

※4月3日（日）競技説明・テクニカルミーティング 本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。

参 加 資 格 ： ＜ＳＩＡ会員＞

①SIA正会員（テレマークスキー・ステージⅡ、Ⅲ、Ⅳの有資格者）

②今期までの会費納入（大会申込締切日までに納入）をした者。

＜新規入会者＞

①令和4年3月末までに支部実施のテレマークスキー・ステージⅡ検定会に合格し入会した者。
※申込締切以降に検定会を受検する場合も、締切を厳守すること。
その際、申込書の資格欄で「テレマークスキー・ステージⅡ受検予定」を選択すること。

注 意 事 項 ： 使用するスキーの台数、長さ、プレートの高さは制限なし。

プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。

ヘルメットを着用すること。

表　　彰 ： デモンストレーター認定者は表彰されます。

認 定 資 格 ： ①公認スキー学校に所属しているテレマークスキー・ステージⅢ以上の資格を有する正会員。

②学校長の推薦をうけ、公認校において１シーズン（冬季常設期間）30日（公認校の常設スキー場）以上の指導活動をし、その証明書を申込時に提出している者。

③協力承諾書を提出している者。

そ　の　他 ： ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。

※採点方法：3審3採用

※デモ認定者：2～3名（予定）認定者数は選手会で発表する。

※女子枠については、申し込み状況を踏まえて、選手会で決定する。

※上位入賞者でも、認定資格を満たしていない方はデモに認定されません。

※デモンストレーター認定にあたり、4月4日競技終了時の成績上位者に面談を行います。
4月4日17:00ANAクラウンプラザリゾート安比高原内予定。面談時の服装は平服で構いません。

※デモ認定者は、5日の認定発表後～7日（解散15時予定）まで、デモ合宿に参加していただきます。
ご予定ください。経費は協会の負担となります。　(2022.3,.16追記)

【着眼点】

スーパーロングテレマークターン
・スピーディで安定感がある。
・適切なテレマークポジションで、ターンをコントロールしている。
・エッジを使ったキレのあるターン弧である。
・積極的である。
・左右差が無い。

スーパーショートテレマークターン
・スピーディで安定感がある
・適切なテレマークポジションで、ターンをコントロールしている。
・リズミカルでエッジを使ったキレのあるターン弧である。
・左右差が無い。
・ストックワークが適切である。

フリー滑走
・スピーディーで安定感がある。
・ターン弧の大きさの違いが明確である。
・適切なテレマークポジションでターンをコントロールしている。
・エッジを使ったキレのあるターン弧である。
・独創性がある。
・積極的である。

ブルークテレマークターンとシュテムテレマークターン（滑り分け）
・適切で自然な上下動を使っている。
・テレマークポジションに移行するタイミングが適切である。
・適正なテレマークポジションでターンをコントロールしている。
・滑り分けが明確である。
・ターン弧やスピードが適切である。
・シュテムテレマークターンではストックを使用している。

ベーシックロングテレマークターンとテレマークターン（滑り分け）
・それぞれ適切な運動でターンを切りかえている。
・脚の入れかえとエッジの切りかえが、適切である。
・適正なテレマークポジションでターンをコントロールしている。
・滑り分けが明確である。
・ターン弧やスピードが適切である。
・適正なタイミングのストックワークである。

不整地ショートテレマークターン
・スピーディーで安定感がある。
・適正なテレマークポジションでターンをコントロールしている。
・フォールラインに沿ってターンしている。
・適正なタイミングのストックワークである。

第３回SIAアルペンスキー技術コンテスト

日　　程 ： 令和4年4月3日（日）
※4月2日（土）競技説明・テクニカルミーティング 本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。
参加資格 ： アルペンスキー愛好者（技術レベル：ＳＩＡセミゴールド、ＳＡＪ1級以上）
競技種目 ： ショートターン、ミドルターン、コンビネーション
注意事項 ： 使用するスキーの台数、長さ、プレートの高さは制限なし。
プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。
ヘルメットを着用すること。
表　　彰 ： 表彰は上位３名（男女別）までとします。
そ　の　他 ： ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。
※採点方法：5審3採用（その場で得点を表示します）

第２回SIAマスターズスキー技術コンテスト

日　　程 ： 令和4年4月3日（日）
参加資格 ： アルペンスキー愛好者（技術レベル：ＳＩＡセミゴールド、ＳＡＪ1級以上）
40歳以上　※年齢起算日4月1日
競技種目 ： ショートターン、ミドルターン、コンビネーション
部　　門 ： 40歳代の部　男女、50歳代の部　男女、60歳以上の部　男女　※年齢起算日4月1日
注意事項 ： 使用するスキーの台数、長さ、プレートの高さは制限なし。
プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。
ヘルメットを着用すること。
表　　彰 ： 表彰は上位３名（部門別）までとします。
そ　の　他 ： ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。
※採点方法：3審3採用（その場で得点を表示します）

第５回SIAジュニアスキー技術コンテスト

日　　程 ： 令和4年4月3日（日）
参加資格 ： アルペンスキー愛好者
(1)大会参加に保護者の承認を得た者。
(2)スポーツ傷害保険または、これに準じる保険に加入している者。
競技種目 ： ショートターン、ミドルターン、コンビネーション
部　　門 ： 小学生低学年（1～3年）の部　男女
小学生高学年（4～6年）の部　男女
中学生の部 男女
高校生の部 男女
（3月現在の学年とする）

注意事項 ： 使用するスキーの台数、長さ、プレートの高さは制限なし。
プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。
ヘルメットを着用すること。
表　　彰 ： 表彰は上位３名（部門別）までとします。
そ　の　他 ： ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。
※採点方法：3審3採用（その場で得点を表示します）

【着眼点】

ショートターン
・スピード、リズムに調和した重心移動の中で状況に合わせたスキー操作を行う
・適度な外向傾姿勢による捻りとひねり戻しを用いる
・下肢主要3関節を使った両脚同時操作でスピードのある深いターン弧を描く
ミドルターン
・一定のスピード、リズムに調和した重心移動の中で状況に合わせたスキー操作を行う
・スピードをコントロールした中でのスキーの滑走性を用いたターンを演じる
・ストックを使用する
コンビネーション
・ショートターンとミドルターンを決められたターン数で滑走する（例：ミドル４ターン/ショート６ターンの繰り返し）
・積極的なスキー操作の中でターン弧、スピード、リズムを一定とする
・切り換え操作は自由とし、ストックは使用する

第３回SIAスノーボード技術コンテスト

日　　程 ： 令和4年4月4日（月）
※4月3日（日）競技説明・テクニカルミーティング 本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。

参加資格 ： スノーボード愛好者（参加資格特になし）。

競技種目 ： カービングターン、総合滑降（リズム変化コンビネーション）、フリースノーボーディング

注意事項 ： 使用するボードの台数は制限なし。
各種目とも使用するボードの種類（アルペン・フリースタイル）の選択は自由。
ヘルメットを着用すること。

表　　彰 ： 表彰は上位３名（男女別）までとします。

そ の 他 ： ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。
※採点方法：3審3採用

カービングターン
・斜面状況にあった、均一されたロングまたはミドルリズムのターンである
・スピードをコントロールした中で、スノーボードの滑走性を重視した滑りである
・ターン弧にあった積極的な重心移動を行っている
・流れのある動きと安定したボディーバランスである
総合滑降（リズム変化コンビネーション）
・スピードとキレのある、ロング、ミドル、ショート、スイッチ（フェイキー）ターンを構成の中に入れる
・コントロールされたボード操作と、積極的な演技構成
・斜度に対応した安定したボディーバランスである
フリースノーボーディング
・設定された中斜面を独創的なライディングの構成である
・スイッチライディング等を駆使し、スノーボードの可能性を表現している
・スピードの乗った、スノーボードの楽しさ流れの良い演技構成である

SIAでは、アルペン・フリースタイルの両マテリアルを使いこなせるのが望ましいと考え、全ての種目のマテリアルの選択は自由としています。
各種目の着眼点を理解し、種目の特性にあわせ、戦略と責任を持ってマテリアル選択行って下さい。

第３回SIAテレマークスキー技術コンテスト

日　　程 ： 令和4年4月4日（月）
※4月3日（日）競技説明・テクニカルミーティング 本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。

参　加　費 ： 5,000円（保険代含む）

参加資格 ： テレマークスキー愛好者（参加資格特になし）。

競技種目 ： スーパーロングテレマークターン、スーパーショートテレマークターン、フリー滑走

注意事項 ： 使用するスキーの台数、長さ、プレートの高さは制限なし。
プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。
ヘルメットを着用すること。

表　　彰 ： 表彰は上位３名（男女別）までとします。

そ の 他 ： ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。
※採点方法：3審3採用

【着眼点】

スーパーロングテレマークターン
・スピーディで安定感がある。
・適切なテレマークポジションで、ターンをコントロールしている。
・エッジを使ったキレのあるターン弧である。
・積極的である。
・左右差が無い。
スーパーショートテレマークターン
・スピーディで安定感がある
・適切なテレマークポジションで、ターンをコントロールしている。
・リズミカルでエッジを使ったキレのあるターン弧である。
・左右差が無い。
・ストックワークが適切である。
フリー滑走
・スピーディーで安定感がある。
・ターン弧の大きさの違いが明確である。
・適切なテレマークポジションでターンをコントロールしている。
・エッジを使ったキレのあるターン弧である。
・独創性がある。
・積極的である。

ＳＩＡアルペンスキーデモンストレーター選考会・アルペンスキー技術コンテスト
マスターズスキー技術コンテスト・ジュニアスキー技術コンテスト
ＳＩＡテレマークスキーデモンストレーター選考会・テレマークスキー技術コンテスト
規則

［選手会及び開会式］

第１条

選手会で、選考種目・種目別技術要領の最終決定を行うものとする。

［競技委員会及びＴＤ］

第２条

競技委員会が選手権及び選考会全体の運営を行うものとする。

テクニカル・デレゲイト（以下ＴＤ）が、競技種目の決定及びジャッジの選出を行う。

［ドロー］

第３条

選手のゼッケン番号は競技委員会による抽選で決定し、競技種目別にスタート順は
ローテーションを行う。

［スタート］

第４条

1　選手はスタート係による出発点呼を受けなければならない。
出発合図によって、選手はすみやかにスタートしなければならない。
不当な遅延または遅刻は当該種目を棄権と見做し、総合得点１８０点を与える。

2　スタート審判が止むを得ない遅刻と判断したら、ＴＤに報告し、その遅刻を許してもよい。
例えば、個人の用具の故障、もしくは天候の急変等による不可抗力によるものとする。

3　スタート・エリアには、スタートする選手とスタート関係役員以外立ち入る事ができない。
スタート・エリアはポールとフラッグによって表示する。

［演技の中断及び途中棄権］

第５条

1　演技を中断した場合は、その位置から再演技を行う。
ただし、態勢回復に著しく時間を要する場合はＴＤの判断に従う。

2　演技の中断に伴うスキー用具の離脱については、競技役員又は観戦者の援助を受けることができる。

3　途中棄権の場合はその意思表示を速やかに行い、ピステ外に出るものとする。

［フィニッシュ］

第６条

1　フィニッシュ・エリア内で、選手は両方のスキーまたは片方のスキーをつけた状態で
停止しなければならない。また、ストックの有無は問わない。
フィニッシュ・エリアはポールとフラッグおよびネットによって表示する。

［抗議］

第７条

1　得点に関する抗議は、事務的問題以外一切受け付けない。

2　競技内容又は運営に関する抗議はＴＤに対して行う。ＴＤは競技委員長と協議し決定を行う。
抗議は、競技中または演技終了後５分以内とする。

［競技延期・中止等］

第８条

1　天候等不可抗力による競技延期又は中止等の決定は、競技委員長がこれを行う。

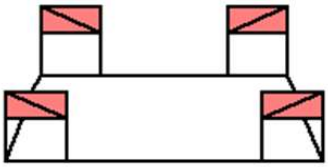
2　その他予期せぬ事項に関しては、競技委員長の判断による。

ＳＩＡスノーボドデモンストレーター選考会・スノーボード技術コンテスト
規則

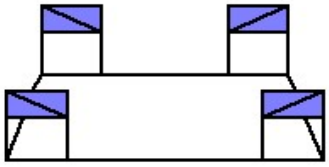
［選手会及び開会式］
第１条
　選手会で、選考種目・種目別技術要領の最終決定を行うものとする。
［競技委員会及びＴＤ］
第２条
　競技委員会が選手権及び選考会全体の運営を行うものとする。
　テクニカル・デレゲイト（以下ＴＤ）が、競技種目の決定及びジャッジの選出を行う。
［ドロ－］
第３条
　選手のゼッケン番号は競技委員会による抽選で決定し、競技種目別にスタート順は
　ローテーションを行う。
［スタ－ト］
第４条
１　選手はスタート係による出発点呼を受けなければならない。
　出発合図によって、選手はすみやかにスタートしなければならない。
　不当な遅延または遅刻は当該種目を棄権と見做し、総合得点１８０点を与える。
２　スタート審判が止むを得ない遅刻と判断したら、ＴＤに報告し、その遅刻を許してもよい。
　例えば、個人の用具の故障、もしくは天候の急変等による不可抗力によるものとする。
３　スタート・エリアには、スタートする選手とスタート関係役員以外立ち入る事ができない。
　スタート・エリアはポールとフラッグによって表示する。
［演技の中断及び途中棄権］
第５条
１　演技を中断した場合は、その位置から再演技を行う。
　ただし、態勢回復に著しく時間を要する場合はＴＤの判断に従う。
２　演技の中断に伴うスノーボード用具の離脱については、競技役員又は観戦者の援助を受けることができる。
３　途中棄権の場合はその意思表示を速やかに行い、ピステ外に出るものとする。
［フィニッシュ］
第６条
１　フィニッシュ・エリア内で、選手はスノーボードを両脚につけた状態で停止しなければならない。
　フィニッシュ・エリアはポールとフラッグおよびネットによって表示する。
［抗議］
第７条
１　得点に関する抗議は、事務的問題以外一切受け付けない。
２　競技内容又は運営に関する抗議はＴＤに対して行う。ＴＤは競技委員長と協議し決定を行う。
　抗議は、競技中または演技終了後５分以内とする。

［競技延期・中止等］
第８条
１　天候等不可抗力による競技延期又は中止等の決定は、競技委員長がこれを行う。
２　その他予期せぬ事項に関しては、競技委員長の判断による。

スタート
（レッド）



ゴール
（ブルー）



SIAアルペンスキーデモンストレーター選考会・アルペンスキー技術コンテスト
マスターズスキー技術コンテスト・ジュニアスキー技術コンテスト
SIAスノーボードデモンストレーター選考会・スノーボード技術コンテスト
SIAテレマークスキーデモンストレーター選考会・テレマークスキー技術コンテスト

会　　場　／岩手県・安比高原スキー場

4月2日(土)			
17:00～18:00	APｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選 MSｺﾝﾃｽﾄ JRｺﾝﾃｽﾄ	競技説明・テクニカルミーティング　WEBミーティング（BlueJeans使用） ※本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。 ※出席しない選手の異議は認めません。 ※欠席の場合は、事前にSIA事務局にメールかFAXでお知らせください。 ※ゼッケン配布　ANAクラウンプラザリゾート安比高原にて 4月2日（土）15:00～19:00　または　4月3日（日）8:00～ 8:30	
4月3日(日)			
※前日の競技説明・テクニカルミーティング欠席等でゼッケンを受け取っていない方は、大会当日8:30までにSIAフェスティバル本部（ANAクラウンプラザリゾート安比高原内）で受け取ってください。			
9:00～9:20	APｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選 MSｺﾝﾃｽﾄ JRｺﾝﾃｽﾄ	インスペクション	急斜面・整地（オオタカ上部）
9:40～11:10	APｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選	ショートターン	
	MSｺﾝﾃｽﾄ	ショートターン	
	JRｺﾝﾃｽﾄ	ショートターン	
11:10～12:40	APｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選	ミドルターン	
	MSｺﾝﾃｽﾄ	ミドルターン	
	JRｺﾝﾃｽﾄ	ミドルターン	
13:00～13:20	APｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選 MSｺﾝﾃｽﾄ JRｺﾝﾃｽﾄ	インスペクション	急斜面・整地（オオタカ上部）
13:40～15:10	APｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選	コンビネーション	
	MSｺﾝﾃｽﾄ	コンビネーション	
	JRｺﾝﾃｽﾄ	コンビネーション	
17:00	APｺﾝﾃｽﾄ MSｺﾝﾃｽﾄ JRｺﾝﾃｽﾄ	成績発表 ※成績発表等について、 下記の様に予定しています。 ・リザルトをSIA公式ウェブサイト掲載。 ・表彰対象選手はSIAフェスティバル本部にて受取。 ・ゼッケンは最終種目時に回収。	ANAクラウンプラザリゾート安比高原　内 SIAフェスティバル本部
17:00～18:00	SBｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選 TMｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選	競技説明・テクニカルミーティング　WEBミーティング（BlueJeans使用） ※本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。 ※出席しない選手の異議は認めません。 ※欠席の場合は、事前にSIA事務局にメールかFAXでお知らせください。 ※ゼッケン配布　ANAクラウンプラザリゾート安比高原にて 4月3日（日）15:00～19:00　または　4月4日（月）8:00～ 8:30	
4月4日(月)			
※前日の競技説明・テクニカルミーティング欠席等でゼッケンを受け取っていない方は、大会当日8:30までにSIAフェスティバル本部（ANAクラウンプラザリゾート安比高原内）で受け取ってください。			
9:00～9:20	APﾃﾞﾓ選 SBｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選 TMｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選	インスペクション	急斜面・整地（ハヤブサ上部）
9:40～10:45	APﾃﾞﾓ選	ロングターン	
	SBｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選	カービングターン	
	TMｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選	スーパーロングテレマークターン	
10:45～12:05	APﾃﾞﾓ選	総合滑降	
	SBｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選	総合滑降(リズム変化コンビネーション)	
	TMｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選	スーパーショートテレマークターン	
12:25～12:45		インスペクション	中斜面・整地（オオタカ中部デモバーン～カケス）
13:05～15:40	APﾃﾞﾓ選	ロングターン・伸身～屈伸	
	SBｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選	フリースノーボーディング	
	TMｺﾝﾃｽﾄ兼ﾃﾞﾓ選	フリー滑走	
	APﾃﾞﾓ選	プルークボーゲンからロングターンへの展開	
17:00	SBｺﾝﾃｽﾄ TMｺﾝﾃｽﾄ	成績発表 ※成績発表等について、 下記の様に予定しています。 ・リザルトをSIA公式ウェブサイト掲載。 ・表彰対象選手はSIAフェスティバル本部にて受取。 ・ゼッケンは最終種目時に回収。	ANAクラウンプラザリゾート安比高原　内 SIAフェスティバル本部
18:00		面談（デモンストレーター選考会上位選手）	ANAクラウンプラザリゾート安比高原　内
	会員親善GSL	※ゼッケン配布　ANAクラウンプラザリゾート安比高原にて 4月4日（月）15:00～19:00　または　4月5日（火）7:00～ 7:30	

4月5日(火)			
※会員親善GSLのゼッケンは大会当日7:30までにSIAフェスティバル本部(ANAクラウンプラザリゾート安比高原内)で受け取ってください。			
8:00～8:30	APﾃﾞﾓ選	インスペクション	急斜面・整地(カッコウ)
9:00～10:45	会員親善GSL	GSL(1走1採用)	
	APﾃﾞﾓ選	GSL(2走1採用)	
9:30～9:50	TMﾃﾞﾓ選	インスペクション	中斜面・整地(オオタカ中部デモバーン～カケス)
10:10～10:30	SBﾃﾞﾓ選	スライディングターンとカービングターン(滑り分け)	
	TMﾃﾞﾓ選	プルークテレマークターンとシュテムテレマークターン(滑り分け)	
	TMﾃﾞﾓ選	ベーシックロングテレマークターンとロングテレマークターン(滑り分け)	
10:50～11:10	SBﾃﾞﾓ選	インスペクション	パーク
11:30～12:30	SBﾃﾞﾓ選	エアー	
12:30～12:50	APﾃﾞﾓ選 SBﾃﾞﾓ選 TMﾃﾞﾓ選	インスペクション	急斜面・不整地(オオタカ上部)
13:10～14:40	APﾃﾞﾓ選	ショートターン(不整地)	
	SBﾃﾞﾓ選	ショートターン(不整地)	
	TMﾃﾞﾓ選	応用　不整地ショートテレマークターン	
13:30	会員親善GSL	成績発表 ※成績発表等について、 下記の様に予定しています。 ・リザルトをSIA公式ウェブサイト掲載。 ・表彰対象選手はSIAフェスティバル本部にて受取。 ・ゼッケンはゴールエリアで回収。	ANAクラウンプラザリゾート安比高原　内
16:00～16:30	APﾃﾞﾓ選 SBﾃﾞﾓ選 TMﾃﾞﾓ選	理事会(審議事項:デモンストレーター認定について)	ANAクラウンプラザリゾート安比高原　内
17:00	APﾃﾞﾓ選 SBﾃﾞﾓ選 TMﾃﾞﾓ選	成績発表　(認定確認書) ※成績発表等について、 下記の様に予定しています。 ・リザルトをSIA公式ウェブサイト掲載。 ・デモ認定者のみ会場に集合。 ・ゼッケンは最終種目時に回収。	ANAクラウンプラザリゾート安比高原　内

※種目及び斜面は予定であり、積雪量・コース整備・天候等の状況により種目の変更する場合があります。最終種目は選手会で決定します。

※大会名

APｺﾝﾃｽﾄ　＝　アルペンスキー技術コンテスト
MSｺﾝﾃｽﾄ　＝　マスターズスキー技術コンテスト
JRｺﾝﾃｽﾄ　＝　ジュニアスキー技術コンテスト
SBｺﾝﾃｽﾄ　＝　スノーボード技術コンテスト
TMｺﾝﾃｽﾄ　＝　テレマークスキー技術コンテスト
APﾃﾞﾓ選　＝　アルペンスキーデモンストレーター選考会
SBﾃﾞﾓ選　＝　スノーボードデモンストレーター選考会
TMﾃﾞﾓ選　＝　スノーボードデモンストレーター選考会
会員親善GSL＝　会員親善GSL

4/3〜5

第44期・第45期アルペンスキーデモンストレーター選考会

第3回SIAアルペンスキー技術コンテスト

女子

	Bib	名前	性別	資格	所属校	認定資格
1	1	福田　咲	女	ｺﾝﾃｽﾄ		
2	2	高橋　知那	女	ｺﾝﾃｽﾄ		
3	3	松澤　沙希	女	ｺﾝﾃｽﾄ		
4	4	岡田　里菜	女	APIV	ｼﾞｬﾑﾌﾟﾛｽｷｰｽｸｰﾙ	○
5	5	湯下　万里	女	APIV	ｴｺｰﾊﾞﾚｰｽﾉｰｽﾎﾟｰﾂｽｸｰﾙ	○
6	6	吉村　有希菜	女	APIV	ﾌﾞﾛｯｻﾑｽｷｰｽﾉｰﾎﾞｰﾄﾞｽｸｰﾙ	○
7	7	関崎　友紀	女	APIV	ﾆｾｺｱﾝﾇﾌﾟﾘｽｷｰｱﾝﾄﾞｽﾉｰﾎﾞｰﾄﾞｽｸｰﾙ	○
8	8	阿部　理沙	女	APIV	ｽｸｴｱｽｷｰﾚｯｽﾝ	○
9	9	北村　祥子	女	APIII	富井ｽｷｰｽｸｰﾙ	○
10	10	早川　晴己	女	APIV	ﾖｰﾃﾞﾙｽｷｰ学校	○
11	11	野村　夏江	女	APIV	Wing Pro Ski School	○
12	12	倉持　真理	女	AP II	Ski-est 志賀	
13	13	小上　理恵	女	APIV	木島平ﾌﾟﾛｽｷｰｽｸｰﾙ	○
14	14	三竹　はるみ	女	APIV	戸隠ﾌﾗﾝｽｽｷｰ学校	○
15	15	木村　夏海	女	APIII	安比ｽｷｰ＆ｽﾉｰﾎﾞｰﾄﾞｽｸｰﾙ	○

※資格欄　ｺﾝﾃｽﾄ＝技術コンテストのみ出場

4/3〜5

第44期・第45期アルペンスキーデモンストレーター選考会

第3回SIAアルペンスキー技術コンテスト

男子

	Bib	名前	性別	資格	所属校	認定資格
1	16	長門　紀幸	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
2	17	平井　一規	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
3	18	井上　強	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
4	19	藤田　昭平	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
5	20	酒井　秀仁	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
6	21	柴田　邦弘	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
7	22	須藤　空太	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
8	23	藤原　友範	男	AP II	高天ヶ原 SKIWI SKI SCHOOL	
9	24	加賀谷　直樹	男	APIII	安比ｽｷｰ＆ｽﾉｰﾎﾞｰﾄﾞｽｸｰﾙ	○
10	25	小原　健汰	男	APIV	月山ﾌﾟﾛｽｷｰｽｸｰﾙ	○
11	26	榎本　来飛	男	AP II	ｴｺｰﾊﾞﾚｰｽﾉｰｽﾎﾟｰﾂｽｸｰﾙ	
12	27	吉田　直矢	男	APIII	水上高原ﾌﾟﾛｽｷｰｽｸｰﾙ＆ｷｯｽﾞｱｶﾃﾞﾐｰ	○
13	28	山口　礼雅	男	AP II	木島平ﾌﾟﾛｽｷｰｽｸｰﾙ	
14	29	今井　工	男	AP II	大鰐ｽｷｰｽｸｰﾙ	
15	30	遠藤　洋輔	男	AP II	MZ白石ｽﾉｰｽﾎﾟｰﾂｽｸｰﾙ	
16	31	石田　優季	男	APIV	ﾖｰﾃﾞﾙｽｷｰ学校	○
17	32	近藤　剛	男	APIV	ｵｰｽﾄﾘｱｽｷｰ教室 ｼｰｻｲﾄﾞﾊﾞﾚｰ	○
18	33	湯下　大地	男	APIV	ｴｺｰﾊﾞﾚｰｽﾉｰｽﾎﾟｰﾂｽｸｰﾙ	○
19	34	谷藤　昌司	男	APIII	ｼﾞｬﾑﾌﾟﾛｽｷｰｽｸｰﾙ	
20	35	奥村　哲也	男	APIV	ﾍﾌﾞﾝｽそのはらﾌﾟﾛｽｷｰｽｸｰﾙ	○
21	36	長谷川　勝彦	男	APIV	ｼﾞｬﾑﾌﾟﾛｽｷｰｽｸｰﾙ	○
22	37	木村　信貴	男	APIV	なかにしスキー塾	○
23	38	目黒　優平	男	APIII	中里ｽﾉｰｳｯﾄﾞｽｷｰｽｸｰﾙ	○
24	39	村島　亮介	男	APIII	妙高ﾌﾟﾛｽｷｰｽｸｰﾙ	○
25	40	飯沼　勇樹	男	APIV	ｵｰｽﾄﾘｱｽｷｰ教室　山形赤倉	○
26	41	松澤　聖	男	APIV	安比ｽｷｰ＆ｽﾉｰﾎﾞｰﾄﾞｽｸｰﾙ	○
27	42	宮根　貴彦	男	APIV	高天ヶ原 SKIWI SKI SCHOOL	○
28	43	古谷　正臣	男	APIV	ｲﾝｶﾙﾌﾟﾛｽｷｰｽｸｰﾙ	○
29	44	鶴井　智之	男	APIV	鶴井ｽｷｰｽｸｰﾙ	○
30	45	若森　久明	男	APIV	高天ヶ原 SKIWI SKI SCHOOL	○
31	46	山岸　聖	男	APIV	中里ｽﾉｰｳｯﾄﾞｽｷｰｽｸｰﾙ	○
32	47	左近　一平	男	APIV	ｵﾆｺｳﾍﾞｽｷｰ＆ｽﾉｰﾎﾞｰﾄﾞｽｸｰﾙ	○
33	48	福本　良	男	APIV	安比ｽｷｰ＆ｽﾉｰﾎﾞｰﾄﾞｽｸｰﾙ	○
34	49	佐伯　敏	男	APIV	JAPANｼﾞｭﾆｱｽｷｰｱｶﾃﾞﾐｰ	○
35	50	岡本　大樹	男	APIV	ﾖｰﾃﾞﾙｽｷｰ学校	○
36	51	荒川　和人	男	APIV	ﾀﾞﾎﾞｽｽﾉｰｽｸｰﾙ	○

※資格欄　ｺﾝﾃｽﾄ＝技術コンテストのみ出場

4/4～5

第44期・第45期スノーボードデモンストレーター選考会

第3回SIAスノーボード技術コンテスト

男子

	Bib	名前	性別	資格	所属校	認定資格
1	91	佐々木　優	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
2	92	仁井田　薫	女	SBⅣ	太平山ｽｷｰ場ｵｰﾊﾟｽﾌﾟﾛｽｷｰｽｸｰﾙ	○
3	93	遠藤　康輔	男	SBⅡ	MZ白石ｽﾉｰｽﾎﾟｰﾂｽｸｰﾙ	
4	94	田中　宏典	男	SBⅣ	苗場ｽﾉｰｽｸｰﾙ	○
5	95	國井　理裕	男	SBⅣ	MZ白石ｽﾉｰｽﾎﾟｰﾂｽｸｰﾙ	○
6	96	重川　雄喜	男	SBⅡ	ｽｸｴｱｽｷｰﾚｯｽﾝ	
7	97	藤井　耕司	男	SBⅣ	ﾏｲｱｽｷｰｱｶﾃﾞﾐｰ	○

※資格欄　ｺﾝﾃｽﾄ＝技術コンテストのみ出場

4/4～5

第44期・第45期テレマークスキーデモンストレーター選考会

第3回SIAテレマークスキー技術コンテスト

男子

	Bib	名前	性別	資格	所属校	認定資格
1	98	浦窪　巳樹	女	ｺﾝﾃｽﾄ		
2	99	荒井　靖	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
3	100	早坂　康太郎	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
4	101	管　良彦	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
5	102	松永　洋一	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
6	103	玉田　健悦	男	ｺﾝﾃｽﾄ		
7	104	淺井　忠政	男	TMⅣ	苗場ｽﾉｰｽｸｰﾙ	○
8	105	入倉　庸仁	男	TMⅣ	ｵｰｽﾄﾘｱｽｷｰ教室ｼｬﾙﾏﾝ火打	○
9	106	横田　英二	男	TMⅣ	ｲﾝｶﾙﾌﾟﾛｽｷｰｽｸｰﾙ	○
10	107	川村　智夢	男	TMⅡ	くりやまｽﾉｰｽｸｰﾙ	
11	108	上野　英孝	男	TMⅣ	三浦雄一郎&ｽﾉｰﾄﾞﾙﾌｨﾝｽｷｰｽｸｰﾙ	○

4/3
第5回SIAジュニアスキー技術コンテスト

小学生低学年（1〜3年生）の部　女子

	Bib	名前
1	59	畠山　聖絆
2	60	中林　優里
3	61	峰崎　愛理
4	62	高橋　柑奈
5	63	山本　杏
6	64	須藤　小夏

小学生低学年（1〜3年生）の部　男子

	Bib	名前
1	65	安田　大燿
2	66	坂本　遼河
3	67	西澤　啓治
4	68	菅原　翔矢
5	69	真下　博翔
6	70	藤村　昌輝
7	71	村井　敬輔
8	72	中目　彪王

小学生高学年（4〜6年生）の部　女子

	Bib	名前
1	73	蒔苗　莉亜那
2	74	佐藤　穂ノ花
3	75	河辺　空
4	76	山本　凜

小学生高学年（4〜6年生）の部　男子

	Bib	名前
1	77	後藤　吏樹
2	78	俣江　蒼太朗
3	79	山口　琉生
4	80	青山　凌大
5	81	西澤　弘治

中学生の部　男子

	Bib	名前
1	82	三上　禮
2	83	遠藤　夕希
3	84	数馬　悠生
4	85	蒔苗　聖那
5	86	齋藤　慎太

中学生の部　女子

	Bib	名前
1	87	数馬　望生

高校部　男子

	Bib	名前
1	88	佐藤　龍之介
2	89	三上　祐未
3	90	須藤　成

4/3
第2回SIAマスターズスキー技術コンテスト

60代の部　男子

	Bib	名前
1	52	園原　信輝

50代の部　女子

	Bib	名前
1	53	早川　晴己

50代の部　男子

	Bib	名前
1	54	池田　進
2	55	二之宮　弘道
3	56	横澤　英悟

40代の部　女子

	Bib	名前
1	57	川辺　貴子

40代の部　男子

	Bib	名前
1	58	栗原　立人

4月5日
会員親善GSL
40代の部　男子

	Bib	名前
1	109	田井　健太郎

スタート順

アルペンスキー技術コンテスト　兼　アルペンスキーデモンストレーター選考会

		女子
4月3日	ショートターン	1 ～ 15
	ミドルターン	3 ～ 15 、 1 ～ 2
	コンビネーション	5 ～ 15 、 1 ～ 4
4月4日	ロングターン	7 ～ 15 、 4 ～ 6
	総合滑降	9 ～ 15 、 4 ～ 8
	ロングターン・伸身～屈伸	10 ～ 15 、 4 ～ 9
	プルークボーゲンからロングターンへの展開	12 ～ 15 、 4 ～ 11
4月5日	GSL（2走1採用）	前日までの総合成績の上位から。同点の場合はビブNO順。
	ショートターン（不整地）	13 ～ 15 、 4 ～ 12

※1～3は技術ｺﾝﾃｽﾄのみの出場者

		男子
4月3日	ショートターン	16 ～ 51
	ミドルターン	21 ～ 51 、 16 ～ 20
	コンビネーション	25 ～ 51 、 16 ～ 24
4月4日	ロングターン	30 ～ 51 、 23 ～ 29
	総合滑降	34 ～ 51 、 23 ～ 33
	ロングターン・伸身～屈伸	39 ～ 51 、 23 ～ 38
	プルークボーゲンからロングターンへの展開	43 ～ 51 、 23 ～ 42
4月5日	GSL（2走1採用）	前日までの総合成績の上位から。同点の場合はビブNO順。
	ショートターン（不整地）	48 ～ 51 、 23 ～ 47

※16～22は技術ｺﾝﾃｽﾄのみの出場者

マスターズスキー技術コンテスト

	60歳以上	男子
4月3日	ショートターン	52
	ミドルターン	52
	コンビネーション	52

	50歳代	女子	男子
4月3日	ショートターン	53	54 ～ 56
	ミドルターン	53	55 ～ 56 、 54
	コンビネーション	53	56 、 54 ～ 55

	40歳代	女子	男子
4月3日	ショートターン	57	58
	ミドルターン	57	58
	コンビネーション	57	58

ジュニアスキー技術コンテスト

	小学生低学年（1～3年）の部	女子						
4月3日	ショートターン	59	～	64				
	ミドルターン	61	～	64	、	59	～	60
	コンビネーション	63	～	64	、	59	～	62
	小学生低学年（1～3年）の部	男子						
4月3日	ショートターン	65	～	72				
	ミドルターン	68	～	72	、	65	～	67
	コンビネーション	70	～	72	、	65	～	69
	小学生高学年（4～6年）の部	女子						
4月3日	ショートターン	73	～	76				
	ミドルターン	74	～	76	、	73		
	コンビネーション	76	、	73	～	75		
	小学生高学年（4～6年）の部	男子						
4月3日	ショートターン	77	～	81				
	ミドルターン	79	～	81	、	77	～	78
	コンビネーション	80	～	81	、	77	～	79
	中学生の部	男子						
4月3日	ショートターン	82	～	86				
	ミドルターン	84	～	86	、	82	～	83
	コンビネーション	85	～	86	、	82	～	84
	高校生の部	女子						
4月3日	ショートターン	87						
	ミドルターン	87						
	コンビネーション	88						
	高校生の部	男子						
4月3日	ショートターン	88	～	90				
	ミドルターン	89	～	90	、	88		
	コンビネーション	90	、	88	～	89		

スノーボードスキー技術コンテスト　兼　スノーボードデモンストレーター選考会

4月4日	カービングターン	91	～	97				
	総合滑降(リズム変化コンビネーション)	92	～	97	、	91		
	フリースノーボーディング	93	～	97	、	91	～	92
4月5日	スライディングターンとカービングターン（滑り分け）	95	～	97	、	92	～	94
	エアー	96	～	97	、	92	～	95
	ショートターン（不整地）	97	、	92	～	96		

※91は技術ｺﾝﾃｽﾄのみの出場者

テレマークスキー技術コンテスト　兼　テレマークスキーデモンストレーター選考会

4月4日	スーパーロングテレマークターン	98	～	108				
	スーパーショートテレマークターン	100	～	108	、	98	～	99
	フリー滑走	102	～	108	、	98	～	101
4月5日	プルークテレマークターンとシュテムテレマークターン（滑り分け）	104	～	108				
	ベーシックロングテレマークターンとテレマークターン（滑り分け）	105	～	108	、	104		
	不整地ショートテレマークターン	107	～	108	、	104	～	106

※98～103は技術ｺﾝﾃｽﾄのみの出場者